

# 洛北SSHだより

令和5年12月6日発行  
第10号  
総務企画部



「洛北SSHだより」では、本校SSH事業の取組や様々な情報を発信しています。

## 1 【中学3年】洛北サイエンス 国立民族学博物館 校外学習

10月30日(月)に吹田市にある国立民族学博物館でオーストラリア研修旅行の事前学習を行いました。この博物館の久保正敏名誉教授にお世話になり特別講義と館内の展示解説を行いました。「オーストラリアを科学する：地球史から人類を考えよう 気象と風・生物進化・天体・先住民文化」というタイトルでオーストラリアの歴史や文化、自然について幅広く説明していただきました。講義の後、オセアニア地域の展示についても久保先生に解説していただきました。生徒たちは実物を近くで見ながら、メモをとったり質問をしたりしながら熱心に聞いていました。



## 2 高1文理コース 鳥羽水族館研修「サイエンスツアー」

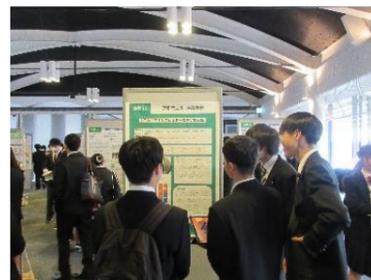
11月2日(木)に鳥羽水族館研修「サイエンスツアー」を実施しました。対象は文理コース1年生です。ツアー実施前に、物質科学基礎および生命科学基礎の授業内で、展示物に関する紹介動画作成を行い、クラス全員で共有したうえで、当日の研修に参加しました。鳥羽水族館に到着後は、飼育員の方から研修を受けたのち、展示物の観察を行いました。鳥羽水族館は非常に多くの生物が展示されており、日本で唯一ジュゴンを観察できる水族館です。みんな一生懸命に展示物の観察を行っていました。研修終了後はレポートを提出し、学びを定着させました。



## 3 みやびサイエンスガーデン

11月11日(土)に京都工芸繊維大学において、課題探究Ⅱの化学・数学・生物・物理地学分野の生徒57名が、課題研究の中間発表として実施された「みやびサイエンスガーデン」に参加しました。スーパーサイエンスネットワーク京都関係校(以下、SSN校)の南部6校(洛北高校・嵯峨野高校・桂高校・桃山高校・南陽高校・亀岡高校)および園部高校の生徒が、これまで取り組んだ課題研究の内容についてポスター発表を行い、お互いの課題研究について交流しました。

みやびサイエンスガーデンは毎年開催され、課題研究を共有する機会をつくり、SSN校の生徒の科学技術に対する興味・関心を一層喚起することを目的に実施されています。生徒たちは、アドバンスセミナーでのポスター発表に続いて、この場で今後の考察やまとめに大いに参考になる研究のアドバイスをもらうことができました。また、さまざまな人の前で発表することで、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が、さらに身についたのではないかと思います。



## 4 高1,2文理コース「英語プレゼンテーション講座」

11月1日(水)と11日(土)の2回にわたって、神戸学院大学名誉教授・野口ジュディ先生による英語プレゼンテーション講座を開催しました。1回目は簡単な英語での自己紹介とそのプレゼンテーションの準備をし、参加者一人ずつに丁寧なフィードバックをいただきました。2回目は、自己紹介と、世界のニュースから自分が気になるものを選んで資料を作り、プレゼンテーションを行いました。フランスの洋服リサイクル、イギリスのBed Povertyなど、それぞれが個性豊かなトピックで、資料も英語もレベルの高いものでした。最後には、先生から今後の英語学習へのアドバイスや将来へのメッセージなどもいただき、今後へのモチベーションとなりました。



## 5 高1サイエンス科 生物学探究Ⅰ 特別講義「生物の系統と進化」 京都府知的好奇心事業

11月17日(金)2,3限、「知的好奇心をくすぐる体験授業」として、サイエンス科1年の生物学探究Ⅰ特別講義「生物の系統と進化」が、長浜バイオ大学の福井 充先生を講師に迎えて行われました。

講義は、なぜたくさんの生物がいるのか、それらはどのように分類されるのか、という話からはじまり、「甲殻類のカニ化」などの話題から、かつては形態の類似性などから分類されていた生物が、現在ではDNAなどの遺伝情報によって分類されるようになり、この数十年の間に大きく変化してきたことが紹介されました。その後、様々な生物の遺伝情報を、インターネット上の解析サイトにアップロードして系統解析を行う実習を行い、真核生物の分類(動物とキノコは、植物よりも近縁!)、クジラはどの陸上生物と近縁か(クジラはカバと近縁!)など、驚きの事実を導き出しました。最後には、新型コロナウイルスの変異株について系統解析を行い、このような技術が我々の生活の近くで役立っていることも学ぶ事ができました。



## 6 科学の甲子園全国大会京都府予選会

11月18日(土)、京都府総合教育センターにおいて「科学の甲子園」の京都府予選が行われました。参加したのは校内予選を勝ち抜いたメンバーで、夏期休業前から何度も集まって練習をしていました。

会場にはたくさんの高校のチームがいて、みんなが熱心に取り組んでいました。今後ますます高校生の科学への熱意が高まって、より科学系のイベントが賑わってくれることに期待します。予選結果は12月上旬にわかる予定です。



## 7 地球研連携校 交流会

11月3日(土・祝)、ファシリテーターとして総合地球環境学研究所からお二人の연구원の方々を迎え、「地球研連携校 交流会」を実施しました。参加したのは宮崎県五ヶ瀬中等教育学校の3チームと本校3チーム7名です。それぞれのチームが「環境に関する学びの実践」について、オンラインで交互に発表し、ディスカッションを進めました。お互いの学校紹介も含みながら、研究を通じて交流を深めることができました。

